

佐倉市議会だより



2016年8月1日
(平成28年)

発行・佐倉市議会 編集・広報公聴委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 TEL484-6254 FAX486-2508
佐倉市ホームページ <http://www.city.sakura.lg.jp> メールアドレス gikai@city.sakura.lg.jp



▲8月1日開館の千代田・染井野ふれあいセンター

佐倉市議会は、6月6日から6月27日までの22日間にわたり、平成28年6月定例会を開催しました。

今定例会では、市長から「平成28年度佐倉市一般会計補正予算」など議案8件が提出され、審議の結果、いずれも原案のとおり可決・同意しました。

請願・陳情については、「日本政府に「核兵器全面禁止のための決断と行動」を求める意見書提出を求める請願書」など5件が、議員提出議案については、「国における平成29年度教育予算拡充に関する意見書」など11件がそれぞれ提出され、審議しました。

また、一般質問には、各会派の代表質問に5人、個人質問に13人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。

6月定例会

一般会計補正予算 副市長の選任など 8議案を可決・同意

議会改革推進委員会の協議結果について（答申）

佐倉市議会では、継続的に議会改革に取り組むため、議会改革推進委員会を設置し、協議を行っています。このたび、当委員会より協議結果の答申が出されましたので報告します。（詳しくは、佐倉市議会ホームページをご覧ください。）

■議員間の自由討議の実施方法について

（平成28年2月8日）

- ・委員会において実施する。
- ・合意形成に向けた議論を尽くすことにより論点を整理し、委員会の共通理解及び市民への説明責任と議決責任を果たしていくことを目的とする。
- ・討議の対象は、議案（請願、陳情を含む）とする。
- ・実施条件は、自由討議の目的を果たすため、議論が必要な場合とする。
- ・実施機会は、委員の発議により、質疑終了後、討論の開始前とする。
- ・実施の可否は、委員会に諮って決定することとする。
- ・委員会の会議中に行い（休憩中ではなく）、公式な発言として取扱う。
- ・試行的な実施と位置づけ、当該実施に伴い生じた課題の整理、検討を踏まえ、適宜修正をしていく。
- ・上記協議内容を骨子として、議会運営委員会申し合わせ事項に規定することが妥当である。

■請願・陳情の審査方法の見直しについて

（平成28年5月18日）

- ・請願・陳情は、議案として議会に上程されるものであることに鑑み、以下の点について提言する。
- ①願意の相手先が明確になるよう、受理する際、必ず事務局でアドバイスをすること。
- ②議会運営委員会は、請願・陳情の内容が議会の議題としてふさわしいか判断したうえで、本会議の上程の適否を決定すること。

議長に 川名部実 議員 副議長に 村田稯史 議員 を選出



第60代議長

かわなべ みのる
川名部実 議長

平成15年4月初当選以来、連続4期目。この間、第57代議長、文教福祉常任委員長などを務める。
〔所属会派・さくら会〕

第58代副議長

むらた じょうじ
村田稯史 副議長

平成19年4月初当選以来、連続3期目。この間、第54代副議長、議会運営副委員長などを務める。
〔所属会派・さくら会〕

5月臨時会

5月臨時会を5月18日に開催し、市長から「契約の締結について」など議案4件が提出され、審議の結果、いずれも可決または承認しました。

また、議長と副議長の選挙を行い、議長に川名部実議員、副議長に村田稯史議員を選出するとともに、各常任委員や議会運営委員を選任しました。

（議会の構成については6ページに掲載しています。）

市政に関する

一般質問

一般質問とは、議員が議案に関係なく、市政全般にわたり質問することをいいます。

6月定例会では、6月13日から16日までの4日間、わたり、一般質問を行い、市政に対し活発な議論が展開されたので、その一部を掲載します。

詳細については、市役所1号館2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(8月下旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市議会ホームページの会議録検索システム(8月下旬配信予定)からご覧ください。

代表質問

平野裕子

重点施策の推進について

後期基本計画及び創生総合戦略に掲げている重点施策を、どのように推進していくのか。

一つ一つを丁寧に、総力を挙げて推進する。立地環境や他市にはない本市固有の資産を最大限に活かしたまちづくり、花やスポーツを活用したイベント、既存事業の更なる充実、日本遺産などを活用して新たな事業にも取り組んでいく。

子育て世代の希望を叶える施策 今後、子育て世代包括支援センターをどのように展開していくのか。

不安や負担感を抱える母親への支援「ママの心の相談室」の実施等、利用者ニーズの把握に努め、センターの適正な箇所数、増設についても検討する。

高齢者福祉施策について 来月4月から始まる「介護予防・日常生活支援総合事業」のサービスの内容は、

一般質問通告要旨

※は持ち時間1時間、それ以外は30分。()内は会派名。【 】内は関連質問した同じ会派の議員。

代表質問

平野裕子(さくら会)※

- 1 市長の政治姿勢について 2 子育て世代の希望を叶える施策について 3 高齢者福祉施策について 4 安全・安心なまちづくりについて 5 佐倉市の魅力を高める施策について 6 当面の課題について

岡村芳樹(公明党)※

- 1 若者の政治参画を促進する取り組みについて 2 青少年の健全育成について 3 認知症対策について 4 佐倉市の災害対策の取り組みについて 5 東京オリンピック・パラリンピックにおける今後の事前キャンプの対応について 6 印旛沼周辺のイベント開催時の諸問題について

斎藤明美(のぞみ)【徳永由美子】※

- 1 市長の政治姿勢について 2 地域の活性化について 3 高齢者福祉について 4 防災について

伊藤壽子(市民ネットワーク)

- 1 市長の政治姿勢について 2 ワクチン問題について 3 学校行事での安全対策について

萩原陽子(日本共産党)

- 1 核兵器廃絶と平和問題 2 税負担の公平について 3 園庭のない保育園について

個人質問

望月庄子

- 1 少子高齢化時代に向けた人材の確保 2 次世代を担う青少年育成 3 産業経済の活性化 4 スマホ対策

高木大輔(さくら会)

- 1 観光政策について 2 交流人口の確保について 3 多様化する市民の対応について

藤崎良次

- 1 市長の政治姿勢

為田浩(さくら会)

- 1 防災対策・減災対策について

小須田稔(公明党)

- 1 健康・福祉について 2 スポーツ活動の推進について 3 安心・安全なまちづくりについて

森野正(公明党)

- 1 B型肝炎ワクチンの定期接種化について 2 保育園整備の推進について 3 食品ロス削減の推進について 4 禁煙・分煙の推進について

冨塚忠雄

- 1 高齢者の買い物送迎事業について 2 医療費無料化18才までの拡大について 3 野良猫の対策について 4 都市計画道路井野-酒々井線工事に伴う井野南二区の工区について

五十嵐智美(市民ネットワーク)

- 1 介護保険制度について 2 子育て支援のあり方について

大野博美(市民ネットワーク)

- 1 市長の政治姿勢について 2 国保の都道府県単位化(広域化)について 3 地下水汲み上げと地盤沈下について

木崎俊行(日本共産党)

- 1 就学支援制度の拡充を~子育て世代的にどうするか~ 2 大企業(イオンタウンなど)との共存共栄を

橋岡協美(のぞみ)

- 1 定住人口の維持、交流人口の増加、選ばれるまちづくりについて 2 快適で、安全・安心なまちづくりについて 3 航空機騒音問題について

敷根文裕(さくら会)

- 1 市内人口増加のために 2 地域医療、子育て環境について 3 印旛沼と周辺の活用について 4 学校、学童の設備や環境について 5 選挙について

清宮誠(さくら会)

- 1 第4次佐倉市総合計画後期基本計画について 2 環境問題について 3 歴史から学ぶ先見性について 4 歴博等との連携

◎上記の通告内容は、質問者から議長に文書で通告のあった内容に従い、大項目のみ掲載しています。

が求められる。市の取り組みを伺う。

ご提言の駅周辺施設やショッピングセンター等における期日前投票所の設置については、多くの選挙人の投票の利便性を高めることにつながると考えている。今後人口動態や投票所配置の地域間バランスを考慮しながら増設について検討していく。

東京オリンピック・パラリンピックにおけるホストタウンについて

市の取り組みとしてまずはキャンペーン誘致を優先して進めてきたが、アメリカ陸上チームの事前キャンプ地に決まった今、ホストタウンの取り組みについて今後どのように進めていくのか伺う。

第3次の登録申請が締め切りとなる10月末までには成田市、印西市と意見を一本化して、内閣官房オリンピック・パラリンピック推進本部に登録申請をする予定。交流のメニューとしては、オリンピック選手による講演会やオリンピック選手と実際に競技をするといったことがメニユーとして挙がっており、調整を続けていく。引き続き20

のぞみ

斎藤明美

魅力的なまちについて

あやめサミット開催を伺う。災害時の相互応援の強化。相互交流が深まれば、交流人口の増加へと結びつくと考えている。

市内公園の整備を伺う。案内板の設置や進入路などの整備について検討する。

昨年「NHK紅白歌合戦」に初出場を遂げた佐倉市出身のバンド「オプティキ」の考えは、応援していきたい、地域やファンへの活動を支援していきたい。

健康維持、増進の進め方は、今年度から通いの場を設ける市民団体に補助事業を開始。介護職員人材定着へ考えは、関係事業者に意見を伺い、市としてできる対応策を検討。

避難所の整備について伺う。

市民ネットワーク

伊藤壽子

熊本地震に際し、緊急事態条項の必要性を「大切な課題」として菅官房長官の発言について市長の見解を伺う。

日本共産党

萩原陽子

戦争の惨禍くり返さないために

権力の暴走をしばり、個人の権利を守る日本国憲法の改定が安倍政権の公約となっているが、市長の見解はいかがか。

憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって保持しなければならないと憲法12条に謳われている。日本国憲法が示す平和主義の理念は保持すべきと考えられる。

税金の集め方、使い方

これまでの税制改正で庶民の負担が増えた改正はあるか。平成17年度配偶者特別控除の上乗せ部分を廃止。18年度老年者控除を廃止。19年度住民税率一律化。24年度年少扶養控除の廃止。26年度復興増税等。

生活が困窮している場合は条例の定めにより減免できると地方税法で規定されているが、窓口での減免申請は可能か。

減免の条文を定めており、相談があれば丁寧に対応する。

イオンタウンの中に予定している保育園は商業施設の中で長時間、長期にわたって幼児が過ごす、望ましい環境か。

外遊びなどが出来るよう、保育指針に沿って指導する。

個人質問

望月 庄子

少子高齢化時代に向けた人材確保について

特別養護老人ホームの状況を伺う。

介護職員不足を理由に入所を断る状況はない。待機者数301人で入所率は98%。

介護人材の確保と処遇改善について伺う。

介護職員の確保は地域包括ケア構築のため重要。中長期的視点で参入促進等総合的に講ずることが必要。市として行うべき対応策について検討する。

平成29年度に待機児童ゼロを目指しているが入園待ちの状況と、保育士確保、処遇改善について伺う。

88名の児童が入園待ちで、保育士確保は極めて重要な課題で、処遇改善のため佐倉市は独自に民間保育園常勤職員月額1人当たり1万6千円補助を実施しており、国の施策の推進に合わせてさらなる処遇改善に向けて推進していく。

高木 大輔

観光の推進について

市民に市内観光資源の周知のため、施設無料開放等の取り組みが必要と考えるかがかか。

市民に地域のことを理解していただく取り組みが重要であり、検討していく。

観光の推進には、観光協会強化が必要だと考える。職員が1名と、パート職員という現状には問題がある。今後、観光協会とも協議し、改善を求める。

大学誘致について

印西市の順天堂大学が、さくらキャンパスであることに違和感がある。名称の由来を伺う。

把握していないが、旧佐倉藩の領地だからだと推測する。

名称との整合を図るために、佐倉市への誘致を要望する。

UGAの対抗について

佐倉市の取り組みを伺う。

相談及び啓発活動を推進していく。教育現場では、本人・保護者の要望を把握し、成長を見守る体制を整えている。

藤崎 良次

市職員生涯収入と年間平均収入

前市議会において、市職員の生涯収入が合計2億9453万円になることを示した。市はどの様に計算しているか。

議員の試算額は市の負担金も含み適切ではない。生涯収入は個人差があり計算は困難。

退職金や年金も市の会計から出ている。それを計算すると幾らになるのか。1年間の市負担は775万円であり、1時間当りは4150円である。

年間給与は広報で公表している。時給の計算方法は条例で規定している。

市民にとって、どれ位の負担になるかは重要である。計算しないで予算を立てるなら無責任であり、反省が必要である。

長嶋記念球場改修工事の入札 この入札は9社中7社が辞退し落札率は96%と100%に近い。良い入札と感じられない。

入札は適正に執行されたものと考えている。

高木 大輔

防災対策・減災対策について

防災備蓄倉庫の備蓄量について少ないと感じる。より充実すべきと考えるが、いかがか。

災害時における物資や食料の供給についての応援協定で円滑な支援が受けられるよう実効性を確保していく。

防災井戸を増設すべきと考えるが、いかがか。

今後、指定避難所における防災井戸の増設を検討していく。

災害対策を実施していくためのマニュアル等の整備状況についてどのようになっているか。

今年度、職員向けの業務継続計画を策定していく予定。

危機管理体制の一層の充実強化を図るために今年度、市民

部防災防犯課を部相当の危機管理室へと改めた。災害対策本部機能の強化を具現化するために外部からしかるべき方を招聘すべきと考えるが、いかがか。

県内での活用状況や災害対応の課題等を検証し、研究する。

公明党 小須田 稔

子育ての世代間ギャップは

住宅支援等で祖父母世代が孫育てをし易い環境が整いつつある中世代間ギャップの現状は、

母親からの相談で一番は授乳に関するもの。祖母からの心ない言葉で傷ついたと涙する方もいる。課題はあると考える。

祖父祖母手帳について

さいたま市は、今の子育ての現状を祖父祖母に理解してもらうためとし祖父祖母手帳を発行している。多くの母親から感謝されている。佐倉市もこの様な祖父祖母手帳を作るべきでは。

祖父祖母世代に今の子育ての現状を理解してもらうための講演会を予定している。今後は母子手帳交付時や新生児訪問時に祖父祖母の心構えのリーフレットを配布していきたい。

自治会管理街灯のLED化は

自治会の街灯の状況は、

移管を希望する自治会は、29年度から2年をかけLED化工事を行っていく。

公明党 森野 正

B型肝炎ワクチンの定期接種について

10月からB型肝炎ワクチンの定期接種が始まる。接種対象はゼロ歳児だが1歳から4歳の感染によるキャリア移行率は20%から50%と言われる。世代の狭間ができるが、市はどう考えるか。

3歳くらいまでは感染後キャリア化の可能性もあると言われている。感染に心配のある方は医療機関に相談の上、接種することが望ましい。

1歳児以上のお子さんに對しても子宮頸がんワクチン助成

の開始時と同様に一時期だけでも対象を拡大し、市の任意接種助成事業として接種の推進をすよう求めるが。

任意接種費用の助成については考えていない。

要望する。今からでも遅くない、もう一度検討し、3歳児までの救済を強く望む。

富塚 忠雄

医療費無料化18歳までの拡大について

千葉県内で11市町が高校卒業までを対象とし、助成を拡大する自治体が増えている。

子育て世代に対して、さらなる経済的負担の軽減は選ばれる佐倉市に向けて非常に効果的であり、段階的にでも、助成を拡大する考えを伺う。

子ども医療費の助成対象の拡充については、他の施策や今後の財政負担などを考慮し、総合的に判断していく。18歳まで医療の無料化を行うことについては、非常にすばらしいことでは必要なのは十分わかっていて、まずは義務教育の子どもたちに十分な手当てを行うことが重要であり、校舎の大規模改修にめどをつけることが必要と

考えている。また、18歳まで拡大した場合の負担については、分析をして、しかるべきときに

お示ししたいと考えている。

市民ネットワーク 五十嵐 智美

来年度開始の総合事業について

要支援の訪問・通所サービスが現行同様のサービスと基準緩和の引き下げによるサービス提供の問題等、利用者への影響が非常に懸念される。先行実施の自治体で予算削減のために基準緩和サービスへ利用者を誘導する例があると聞く。見解を伺う。

サービスの種類は利用者や家族の同意を得て決定する。

他市では公立保育園での正

規採用拡大、私立保育園の保育士への補助などで保育士確保に動いている。市も非常勤保育士の待遇改善が必要。いかがか。

賃金と業務内容の両面から改善を検討しているところ。

長野県上田市では実務経験者枠を設け59歳まで試験が受けられる。全ての有資格者、非正規保育士に正規への道が開かれているが、どう考えるか。

人事と相談させてほしい。

市民ネットワーク 大野 博美

納得できない市長公用車の運行

市長は演歌歌手の新曲披露会に西浅草まで公用車で帰っているが、どこが行政用務なのか。

その歌手安倍里律子さんは、長崎市と佐倉市の友好関係を築く上で大変お世話になっている。

佐倉市政を進める観点から役に立つという判断から公務とした。

佐倉市政にどう役立つのか。

当市での長崎市長の平和講演の実現や、平和市長会議の開催の橋渡しをしていただいた。

長崎市長の当市来訪に安倍里律子さんが橋渡しをしたのか。

安倍里律子さんだけではないが、多くの方に協力を頂いた。

新曲披露会は演歌歌手にとって営業。公務として協力するのはいかがなものか。

市長の夜のタクシー券使用

公務終了後の深夜に頻りに使用しているが、用務内容の記録がないのはなぜか。

支出伝票には記載している。料金のみで用務内容は無い。

日本共産党 木崎 俊行

イオンタウンオープンによせて

アベノミクスで実質賃金が低下し非正規雇用や働く貧困層が増加。新イオンでの雇用、税収増の見込みはどうか。

非正規は約1440名、内約8割が佐倉市在住。来年度は約1億2千万円の増収見込み。

非正規労働の多くが子育て世代増収分で就学援助制度の拡充を

市は文科省の言う適切な時

期に支給していない。また国は、部活動費も対象と決めた。国に予算要求してきたか。

支給時期は内部協議をする。また、部活動費は4人家族で月30万円の所得があれば親の役割として支出をお願いしたい。

教師用資料では住宅費を1万6千円とするなど生活の苦しさ、まったく理解されていない。

イオンタウンとの共栄共存を

地元商店街にも関心を向ける仕掛けづくりを提案したい。

回遊の仕組みづくりを街中にぎわい推進事業を活用したい。

のぞみ 橋岡 協美

佐倉市人口ビジョンについて

市長が描く人口15万人維持を目指す2060年の姿を伺う。

市民が誇りと愛着を持ち佐倉市に住み続ける姿を思い描く。

合計特殊出生率の改善策は、

子育て支援と教育、就労環境の充実、転入促進のための住宅施策の結果、結果させる。

交通事故死、入浴死（ヒートショック対策）について

セーフティコミュニティによるけがや事故による死亡者数を減少させる取り組みを伺う。

関係各課で連携して啓発に取り組み。

航空機の騒音問題について

国に要望した市民の生活環境に配慮した羽田空港発着便の騒音対策は取られたか伺う。

当市上空の飛行高度は500フィート引き上げられた。将来の負担軽減に取り組み。

成田空港を軸にした交流人口の増加、観光推進のための施策を要望する。

やくらひ 敷根 文裕

選挙について

昨年行われた統一地方選挙において開票事務に立候補者の身内が関わっていたことは事実か伺う。

事実である。

平成26年、高松市で職員が特定候補の票を捨てるなど何度

も不正選挙があったことが発覚し逮捕者を出した。民主主義の根幹を揺るがす事件が記憶に新しい中、市民からおかしいと疑われるような人選は避けるべきではないか。今後どうするのか。

違法ではないと考えるが、公平な選挙執行に疑念を持たれないよう、今後考慮する。

外添元都知事も特定候補者の応援に公用車を利用したこと

を都議会から指摘され「今後は見直す」という発言をしたが、

佐倉市では今後もこうした利用は「問題ない」と考えているのか。

過去の判例等を踏まえ、個別に判断していく。

やくらひ 清宮 誠

後期基本計画について

後期基本計画の推進にあたり、重視していることは何か。

出生率好転と、20代、30代転出超過ゼロを目標とし、その実現に向けた取り組みを進める。

政策分野を超えた連携が重要と考える。取り組みを伺う。

政策あるいは所属を超えた単位での事業計画等の立案を積極的に推進し、複雑化する地域課題の解決に努める。

環境問題について

多種多様な生物が住む環境を引き継いでいくため、自然環境の保全・活用について伺う。

環境基本計画や谷津田環境保全指針を踏まえ、谷津田等の生態系の保全、印旛沼の水質改善を進めている。

人口減少への対応について

若い世代を呼び込むための施策について伺う。

市内の雇用拡大や就業支援、住宅施策等の施策を有機的に組み合わせて実施していく。

用語解説

レスビアン（女性同性愛者）、ゲイ（男性同性愛者）、バイセクシュアル（両性愛者）、トランスジェンダー（心と体の性別が一致しない）の頭文字をとった言葉で性的少数者を意味する。

平成28年5月臨時会 議案賛否一覧

議決結果欄 可 決 承 認
賛 成 反 対 議 議 長 採 決 不 参 加

議案番号	議案名	会派 議決結果 議員	さくら会															公明党				のぞみ			市民ネット ワーク			日本 共産党		会派に 属さない議員	
			4	7	8	10	17	18	22	23	24	26	27	28	9	16	21	25	1	2	11	13	14	15	3	12	5	6	19	20	
1	契約の締結について	可	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○		
2	専決処分の承認を求めることについて	承	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○	○		
3	専決処分の承認を求めることについて	承	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○	○		
4	専決処分の承認を求めることについて	承	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○		

平成28年6月定例会 議案賛否一覧

議決結果欄 可 決 否 否 決 同 同 意
採 採 択 不 採 択 繼 繼 続 審 査
賛 成 反 対 議 議 長

議案番号	議案名	会派 議決結果 議員	さくら会															公明党				のぞみ			市民ネット ワーク			日本 共産党		会派に 属さない議員	
			4	7	8	10	17	18	22	23	24	26	27	28	9	16	21	25	1	2	11	13	14	15	3	12	5	6	19	20	
1	平成28年度佐倉市一般会計補正予算	可	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	
2	佐倉市コミュニティセンター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3	佐倉市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	
4	佐倉市道路線の認定について	可	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
5	契約の締結について	可	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6	佐倉市、四街道市、酒々井町葬祭組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	可	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7	副市長の選任について	同	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
8	固定資産評価員の選任について	同	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願・陳情 ※白抜き数字は陳情番号																															
6	日本政府に「核兵器全面禁止のための決断と行動」を求める意見書提出を求める請願書	不	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○
7	「国における平成29(2017)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	採	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	採	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	佐倉市議会における常任委員会等のインターネットによるライブ中継及び録画中継の配信実現に向けての調査研究に着手することを求める陳情書	繼	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
9	難病・疾病対策の充実に関して国等への意見書の提出を求める陳情書	不	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	
議員提出議案 ※数字は発議案番号																															
1	国における平成29年度教育予算拡充に関する意見書	可	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	可	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	災害ボランティア割引制度に関する意見書	否	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	
4	保育士の給料改善を求める意見書	否	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	
5	公立保育所の一般財源化を廃止し、直接補助制度に戻すことを求める意見書	否	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	
6	保育士不足の解消へ向けて大幅な処遇改善を求める意見書	否	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	
7	立憲主義・民主主義を基調とした政治を求める意見書	否	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	
8	待機児童解消に向けて緊急的な対応を求める意見書	可	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×
9	給付型創設も含めた奨学金制度の充実等を求める意見書	否	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	
10	元海兵隊員の米軍属による女性死体遺棄事件に関する意見書	否	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	
11	「介護離職ゼロ」の実現を求める意見書	否	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	

6月定例会 議案の概要

市長から提出された議案のうち、議案第1号は平成28年度一般会計補正予算、議案第2号・第3号は条例の制定、議案第4号は市道路線の認定、議案第5号は契約の締結、議案第6号は一部事務組合の協議、議案第7号・第8号は人事に関する議案です。

【議案第1号 平成28年度佐倉市一般会計補正予算】

歳入歳出それぞれ5億9934万4000円を増額補正するもの。歳入の主なもの、国庫支出金、県支出金、基金繰入金などの増額。歳出の主なもの、社会福祉法人等による認可保育園及び認定こども園の施設整備費に係る助成、0歳児に対するB型肝炎ワクチンの定期接種に伴う経費、国の産地・パワーアップ事業補助金を活用した、農業団体への農業機械導入経費補助などの事業に係る増額。

【議案第2号 佐倉市コミュニティセンター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について】

市内5か所目のコミュニティセンターとして、本年8月1日に千代田・染井野ふれあいセンターを開館することに伴い、その設置に関する事項及び施設使用料・設備使用料について定めるもの。

【議案第3号 佐倉市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について】

関係省令の改正に伴い、条例で定める家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を改正するもの。これは、小規模保育事業A型等を行う事業所について、待機児童を解消するため保育士の数に関する特例を設けるもの、及び避難階段に關し所要の改正を行うもの。

【議案第4号 佐倉市道路線の認定について】

開発行為に伴い、中志津二丁目地先の1路線を認定するもの。

【議案第5号 契約の締結について】

3・4・5井野・酒々井線外1路線橋梁工事について、2億6679万2400円で、請負契約を締結しようとするもの。

【議案第6号 佐倉市、四街道市、酒々井町葬祭組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について】

構成団体の連携を強化するため、組合の副管理者と議会の構成員に関する規定等に関し、規約を変更することについて協議するもの。

【議案第7号 副市長の選任について】

利根基文（とね・もとふみ）氏を副市長に選任するため、議会の同意を求めるもの。

【議案第8号 固定資産評価員の選任について】

利根基文（とね・もとふみ）氏を固定資産評価員に選任するため、議会の同意を求めるもの。

わくわく

議案第1号、平成28年度佐倉市一般会計補正予算に賛成

歳入は、国庫補助金、県支出金の増額が主なものであり、歳出は、民間保育園の施設整備に対する助成並びに、0歳児に対するB型肝炎ワクチンの定期接種に伴う経費が主なものであった。

民間保育園の補助は、志津地区及び寺崎地区に開園予定の保育園2園の開園並びに、佐倉くみ幼稚園が、認定こども園に移行することに伴う補助である。この3園の開園で280人程度の園児の受け入れが可能となることから、待機児童の解消が図られ、子育て環境が充実するものと考えられる。

B型肝炎ワクチンの定期接種勧奨にあたっては、副反応等の情報提供を提供者に対して適切に行っていたかといった意見も提出されたが、合計3回、0歳児に接種することで、相当程度B型肝炎が予防できることから、必要な事業であると考えられる。

また、その他の事業についても、県支出金等の補助金を活用し、市の活性化に資する事業が計上されているものと判断したことから、賛成するものとする。

議案第2号、佐倉市コミュニティセンター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について賛成

これまで、白井地区にはコミュニティセンターはなく、多くの市民がその設置を望んでいたものであり、白井地区の文化活動の拠点となるだけでなく、市内全域からの利用が期待されることから、賛成するものとする。

議案第3号、佐倉市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について賛成

本条例の改正により、小規模保育事業A型及び、利用定員20

名以上の事業所内保育事業所では、保育士資格がなくても、研修を受けることで、保育士と見なすことができるようになる。

安心して保育を行うことができる環境・体制を整えるためには、保育士不足の解消が必要不可欠である。ただし、幼稚園及び小学校の教諭等の免許は、保育と重なる部分が皆無なので、十分な研修体制を整えることが前提となるが、本改正により、保育士の増員が期待されることから、本改正に賛成するものとする。

議案第7号、副市長の選任について賛成

本議案は、利根基文氏を副市長に選任するため、議会に同意を求めるものである。利根氏は、平成27年4月より、農林水産省より産業振興部の理事として着任され、これまで市の産業振興に尽力されてきた。今後も、こうした種々の経験を活かして、活躍が期待されることから、賛成するものとする。

陳情第9号、難病・疾病対策の充実に対して国等への意見書の提出を求める陳情書に反対

本陳情は、線維筋痛症や筋痛性脳脊髄炎など、指定難病となっていない難病・疾病を抱える患者に対し、医療費の軽減等を要望する意見書の提出を求めるものである。

難病支援制度の谷間に置かれた方への支援を考えることは、自治体の責務と認識している。しかし、線維筋痛症など、病態が解明されていない研究段階にある疾病は、支援者を特定する基準を設定できないのが現状である。必要な支援は、基準が明確となった後、実施することが望ましいと考え、不採択とするものとする。

公明党

議案第1号「平成28年度佐倉市一般会計補正予算」は、民生費・民間保育園等施設整備助成事業として、認可保育園及び認定こども園の施設整備の補助、また衛生費・感染症等予防事業として0歳児に対するB型肝炎ワクチンの定期接種に伴う経費などの予算が計上されている。特に認定こども園は、幼保連携型として市内で初めての取り組みとなるだけに、待機児童解消に向けた対策がさらに進むことを期待する。総務費・コミュニティ環境整備事業として、宝くじを財源とした自治会活動用品の整備補助、農林水産費・農産園芸経営事業として、農業団体に對する大型農業機械トラクターの導入支援、商工費・街中にぎわい推進事業として、商店街活性化共同備品ねぶたの制作等、土木費・幹線道路整備事業として、白井田1-42号線道路整備のための用地購入等、これにより印旛沼への大型観光バスの通行や歩行者の安全確保につながる。教育費・中学校図書館図書整備事業として、寄附による佐倉中学校図書館図書の購入等が主な議案内容である。いずれも大切な予算であり賛成する。

のぞみ

議案第1号 認可保育園及び認定こども園の施設整備費に係る助成、ねぶたの制作、農業団体への農業機械導入経費補助事業の増額であり、適正に事業を執行するための補正予算であると認め賛成した。

議案第2号 本年8月1日に開館する千代田・染井野ふれあいセンターは、目的に沿った管理運用に努めてください。

議案第3号 保育士自身の子育て支援を含めた市の子育て環境の向上のための施策を推進し小規模保育事業が地域の保育拠点の一つとなるよう努めること、幼稚園・小学校教員免許で保育

士とみなす場合は、事前に一定の研修をするように努めることを申し添え賛成した。

陳情第9号 希少疾患の概念と指定難病の指定要件を改めることが難病疾病対策の充実につながるため委員長報告に賛成した。

市民ネットワーク

主な反対理由 議案1号B型肝炎ワクチンの定期接種化により生後2か月から3回接種させるための新生児千人分1925万円の前算。アルミニウムや水銀などの有害添加物が入っている。死亡や脳梗塞などの被害が出ており、すでに多発性硬化症、急性散在性脳脊髄炎、ギランバレー症候群など子宮頸がんワクチンと同様の副反応被害が報告されている。接種前に保護者に副反応の危険性を情報提供し、ワクチン接種は強制ではないことを周知すべき。議案3号小規模保育事業所A型と保育所型事業所内保育事業の職員の配置基準緩和の条例改正。本年、法人契約の認可外保育施設で死亡事故が発生。待機児童対策を名目に保育の質のますますの低下につながる規制緩和など言語道断。安心して子どもを預けられる環境づくりに国は予算措置すべき。

日本共産党

議案第3号佐倉市の保育事業等の設備・運営基準改正に反対 保育士不足の原因は賃金の低さと労働条件の厳しさにあることが明確であり、国は保育士の処遇改善を急ぐべきである。保育資格のない教員などの活用や、配置基準の緩和は専門性を軽視することで、問題解決にならず、国基準どおりの条例改正は認められない。

請願第6号日本政府に「核兵器全面禁止のための決断と行動」を求める意見書提出に賛成

日本政府は国連での棄権を改め核兵器禁止の先頭に立つべき。

会派に属さない議員

議席5番 発議案10号元海兵隊員の米軍属による女性死体遺棄事件に関する意見書沖繩県の女性に遺体で発見された事件、綱紀肅正再発防止等約束されてきたにもかかわらず解決されていない。二度と悲劇が繰り返されないよう意見書を提出することに賛成する。

議席6番 「待機児童解消に向けて緊急的な対応を求める意見書」に賛成 二万人を超える待機児童の早期解消を図るため、地域の実情や利用者の視点に立った支援策、保育人材を確保するための処遇改善を推進できるよう政府に求めることは最重要課題である。

議席19番 0歳児へのB型肝炎ワクチン定期予防接種予算が提案された。欧米型やアジア・アフリカ型が増えており賛成した。ワクチン接種は、危険性もあり健康状態等に十分注意されたい。なお、接種は努力義務であり、不要と判断すれば接種せず構わない。

議席20番 請願第6号に賛成する。 広島、長崎への原爆投下から70年。核兵器が使用されないことを保障する唯一の道は「その全面廃絶である」。核兵器のない世界の実現の役割は被爆国として当然の責務であり、請願6号は採択すべきである。

※議席番号と議員名の確認は4ページの議案一覧をご覧ください。



委員会報告

※議案は市長提出議案

総務常任委員会

開催日：平成28年6月20日 / 場所：第四委員会室

《審査結果》

議案1	議案2	議案5	請願6
可決	可決	可決	不採択

議案3件、請願1件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

千代田・染井野ふれあいセンターの運営に当たっては、利用者や地域住民などの要望を把握し、市民にとって利用しやすい施設となるよう努めていただきたい。

文教福祉常任委員会

開催日：平成28年6月21日 / 場所：第三委員会室

《審査結果》

議案1	議案3	請願7	請願8	陳情9
可決	可決	採択	採択	不採択

議案2件、請願2件、陳情1件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

幼稚園教諭及び小学校教諭等の免許状を有する者を保育士とみなす場合には、教育と保育の違いを考慮し、保育の質を高めるための研修を行っていただきたい。

B型肝炎ワクチンの接種勧奨にあたっては、副反応等の情報提供を、保護者に対し適切に行っていただきたい。

経済環境常任委員会

開催日：平成28年6月22日 / 場所：第二委員会室

《審査結果》

議案1	議案6
可決	可決

議案2件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

補助事業により導入した機器の管理及び運用の適正化のため、管理者に対して継続的な調査及び指導をお願いしたい。ご当地ねぶたのデザイン策定には、長く愛されるために多くの市民意見が反映されるよう配慮していただきたい。

建設常任委員会

開催日：平成28年6月23日 / 場所：第一委員会室

《審査結果》

議案1	議案4
可決	可決

議案2件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

議案第1号の白井田I-42号線用地取得事業においては、用地取得によって歩道の整備がされることは、大いに評価できるものである。引き続き、歩行者の安全確保に努めていただきたい。

※上記の他、議会運営委員会に陳情第8号が付託され、6月24日に審査したところ、継続審査となりました。

議会の構成

●会派・各常任委員会等

議長 川名部実 副議長 村田穰史

委員会 会派	総務常任 委員会	文教福祉 常任委員会	経済環境 常任委員会	建設常任 委員会	議会運営 委員会	議会改革 推進委員会	広報公聴 委員会
さくら会	高木大輔 川名部実 ◎中村孝治	◎為田 浩 山口文明 ◎清宮 誠	敷根文裕 ◎平野裕子 ◎押尾豊幸	◎石渡康郎 村田穰史 ◎櫻井道明	◎高木大輔 櫻井道明 押尾豊幸 ◎清宮 誠	敷根文裕 平野裕子 ◎川名部実 ◎清宮 誠	◎敷根文裕 平野裕子 為田 浩 石渡康郎
公明党	◎久野妙子	小須田稔	◎森野 正	岡村芳樹	◎森野 正	◎小須田稔 ◎森野 正	◎岡村芳樹
のぞみ	徳永由美子	斎藤明美		◎橋岡協美	徳永由美子	◎橋岡協美	徳永由美子
市民ネットワーク	大野博美	◎伊藤壽子		五十嵐智美	五十嵐智美	◎伊藤壽子	五十嵐智美
日本共産党	◎萩原陽子		木崎俊行		木崎俊行	◎萩原陽子	木崎俊行
会派に属さない議員		藤崎良次	山本英司 望月庄子	富塚忠雄			山本英司

議席番号順、◎会派代表者、○委員長、○副委員長、◇オブザーバー

●組合議会・委員会等

印旛衛生施設管理組合	伊藤壽子、村田穰史
印旛利根川水防事務組合	森野正
佐倉市、酒々井町清掃組合	岡村芳樹、櫻井道明、清宮誠
佐倉市、四街道市、酒々井町葬祭組合	為田浩、富塚忠雄
佐倉市八街市酒々井町消防組合	久野妙子、小須田稔、中村孝治
千葉県後期高齢者医療広域連合	清宮誠
印旛郡市広域市町村圏事務組合	川名部実（議長）
佐倉市監査委員	山口文明
佐倉市農業委員会委員	櫻井道明



高木大輔 徳永由美子 川名部実
大野博美 ◎中村孝治 ◎久野妙子 萩原陽子



小須田稔 山口文明 斎藤明美
藤崎良次 ◎清宮誠 ◎為田浩 伊藤壽子



望月庄子 山本英司 木崎俊行
森野正 ◎押尾豊幸 ◎平野裕子 敷根文裕



村田穰史 五十嵐智美 橋岡協美
岡村芳樹 ◎櫻井道明 ◎石渡康郎 富塚忠雄

8月定例会の予定

議会を傍聴してみませんか

- ◆議会運営委員会 8月23日(火)
- ◆招集日 8月29日(月) 午後1時から
- ◆一般質問 9月5日(月)～8日(木)
- ◆常任委員会 9月12日(月)～15日(木)
- ◆決算審査特別委員会 9月20日(火)、21日(水)、23日(金)、26日(月)
- ◆最終日 9月28日(水) 午後1時から

☆日程は変更になることもありますので、詳細につきましては事務局までお問い合わせください。 議会事務局 ☎484-6254

- インターネット中継：本会議（招集日・一般質問・最終日）の様相を開催時間中にライブ中継するほか、開催日のおおむね1週間後から録画中継を配信。
- CATV議会放映：本会議の様相を開催日の翌日午後5時30分から放送。
【地上デジタル10チャンネル、デジタルCATV301チャンネル】

佐倉市議会のホームページもご覧ください

佐倉市のホームページ <http://www.city.sakura.lg.jp> から [佐倉市議会](#) をクリック

議会百景

今夏の参議院選挙から選挙権が18歳に引き上げられた。とりわけ若い世代の投票率が懸念されている。政治に若者の民意を反映させることが、希望ある佐倉市の未来を開いていくと確信する。若者の関心を高めるためにも「佐倉市議会だより」の紙面づくりに一層の工夫が必要だろう。それが市政へ関心を持つきっかけとなれば幸いである。

（広報公聴委員長 岡村芳樹）

今議会では住民監査請求が提出されたことが新聞掲載されるなど今後の執行部と佐倉市議会の動向に対して各方面から注目されております。インターネット中継を見る方も増えてきておりますが、議会からの発信力はまだまだ足りていないと感じております。今後さらに市民の皆さまが興味を持っていただける広報活動に努めてまいります。

（広報公聴副委員長 敷根文裕）